

「苔と植物の涼と佗び寂びを楽しむ」
システムバルダ



[巻頭グラビア]

NATURE IN THE GLASS

枯淡の趣

ENJOY DOOA
システムバルダ30/60

ADA Review
バルダライト30/60／テラベース

SUIKEI Words #02
「レイアウト構成～流木～」

DOOA STYLE #02

Plant Art Studio #32

ネイチャーコラム 第2回
「親しみたいタナゴ」

NATURE IN THE GLASS

Hayato Ochi

時間の経過と
自然感を演出した
幽玄の水景

【枯淡の趣】水草の葉には、さまざまな色や形のものがある。ネイチャーアクアリウムでは、それらの色や形、生長スピードが異なる水草がせめぎ合いながらも混ざり合うことで自然感が演出されていく。特にミクロソラムやボルビティスなどのシダの仲間が葉を茂らせた姿からは、悠久の時間とともに幽玄な雰囲気を感じじことができる。この水景では、それらの表現を多用することで、シンプルな凸型構図の中に時間の経過と自然感の演出をテーマにしている。



©AQUA DESIGN AMANO

DATA

撮影日 2020年4月28日(ADA)
制作 越智 隼人(レイアウト制作・文)
水槽 キューブガーデン W180×D60×H60(cm)
照明 ソーラーRGB ×3(1日8時間30分点灯)
ろ過 スーパージェットフィルターES-2400(ハイオリオL)
素材 ブランチウッド、山水石
底床 アクアソイル-アマゾニア Ver.2、パワーサンド・アドバンスL、バクター100、クリアスパー、トルマリンBC

C O 2 バレングラス・ビートルレ500、CO₂ビートルカウンターで1秒に10滴(タワー使用)
A I R リリーパイプP-6によるエアレーション 夜間消灯時15時間30分
添加剤 ブライティK、グリーンブライティ・ミネラル、グリーンブライティ・ニトロ
換水 1週間に1度 1/2
水質 水温24°C pH:5.8 TH:20mg/L

水草	魚種	
ミクロソラム・トライアント ボルビティス・ヒュデロッティ	<i>Microsorum</i> sp. "Trident" <i>Bolbitis heudelotii</i>	BIO オーストラリアン・ヒドロコテイレ <i>Hydrocotyle</i> sp.
ロターラsp. 福建省 ロターラsp. インレー ロターラsp. スパイキー	<i>Rotala</i> sp. "Fujian" <i>Rotala</i> sp. "Inle" <i>Rotala</i> sp. "Spikey"	BIO アヌビアス・ナナ <i>Anubias barteri</i> var. <i>nana</i>
ロターラ・マクランドラ・シモガ 化び草 ルドウェイジア・グランデュローザ 化び草 ハイクロフィラ・ボリスペルマ	<i>Rotala macrandra</i> "Shimoga" <i>Ludwigia glandulosa</i> <i>Hygrophila polysperma</i>	BIO アヌビアス・ナナ プチ <i>Anubias barteri</i> var. <i>nana</i> "Petit"
BIO ロターラsp. ワヤード BIO ロターラsp. Hra BIO ロターラ・ナンセアン BIO エキノドルス・テネルス BIO ニードルリーフ・ルドウェイジア BIO ミリオフィラム・マットグロッセンゼ BIO ブリクサ・ショートリーフ	<i>Rotala</i> sp. "Wayanad" <i>Rotala</i> sp. Hra <i>Rotala</i> nanjean <i>Echinodorus tenellus</i> <i>Ludwigia arcuata</i> <i>Myriophyllum mattogrossense</i> <i>Blyxa novoguineensis</i>	BIO グロッソスティグマ <i>Glossostigma elatinoides</i> BIO ウィローモス <i>Fontinalis antipyretica</i> ダイヤモンド・テトラ <i>Moenkhausia pittieri</i> レッド・テトラ <i>Hypseobrycon amandae</i> カージナル・テトラ <i>Paracheirodon axelrodi</i> インパクトティス・ケリー <i>Inpaichthys kerri</i> ダイヤモンド・ペレズ・テトラ <i>Hypseobrycon erythrostigma</i> ティグロソソ・マクラータス <i>Dicrossus maculatus</i> サイアミーズ・フライングフォックス <i>Crossocheilus oblongus</i> オトシンクレス <i>Otocinclus</i> sp. ヤマトヌマエビ <i>Caridina multidentata</i>



水草と魚が織りなす幽玄の水景

「幽玄」という言葉には陰のイメージがあるかもしれないが、本来は趣深い様子を表す言葉である。私には、陰生水草と陽生水草が混ざり合い、そこに多様な魚が共存する水景こそ、幽玄に感じられる。

©AQUA DESIGN AMANO

常に心がけている 天野 尚の言葉 「大胆かつ繊細に」

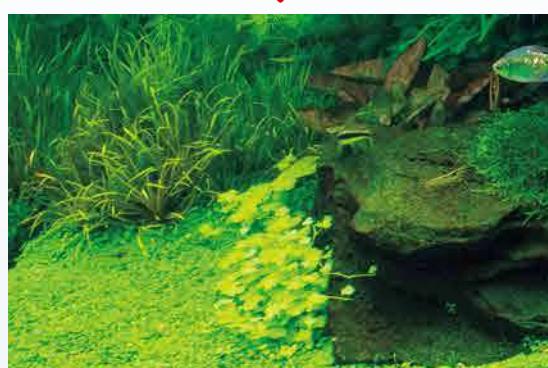
レイアウトをつくる際、私は天野がよく言っていた「大胆かつ繊細に」という言葉を常に心がけている。この水景でも、構図骨格となる流木や石はシンプルかつ大胆に配置し、水草は葉のサイズや色合いを考慮して繊細に配植することで水景を大きく見せている。また、水草が生い茂ることで左右の流木つながりができることを想定し、右から左にかけて倒れた一連の倒木のように流木を配置した。惜しむらくは、レイアウトの制作から約半年での撮影だったため、ミクロソラム・トライデントやボルビティス・ヒュデロツティといったシダ類の株に若さが見られる点である。さらに時間をかけ維持することで、流木とこれらのシダ類の株がなじみ、より迫力のある水景となつたことだろう。



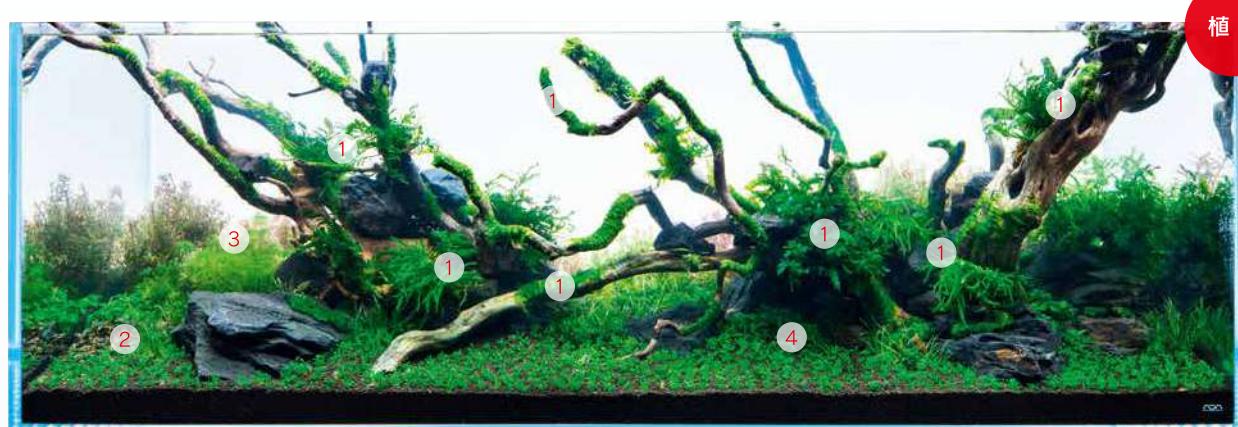
1

大胆に組んだ構図骨格

石や水槽の縁も利用し、流木を大胆に組んで構図骨格をつくった。幽玄な雰囲気を出すため、ポイントで流木にモスをつけ、シダ類を多用して時間の経過を演出した。



2



植栽直後のレイアウト／2019年11月28日 撮影

イベントを考慮した水草の変更

この水景は、大阪のイベントで展示する予定だったため、搬送時のストレスを考慮し、一度植栽した中景のクリプトコリネをブリクサ・ショートリーフに変更している。

3

多様な有茎草を繊細に植栽

自然界の植物の多様性を表現するため、ロターラsp. インレーやロターラsp. スパイキーなど、これまでの水景にあまり使われてこなかった有茎草を積極的に用いた。



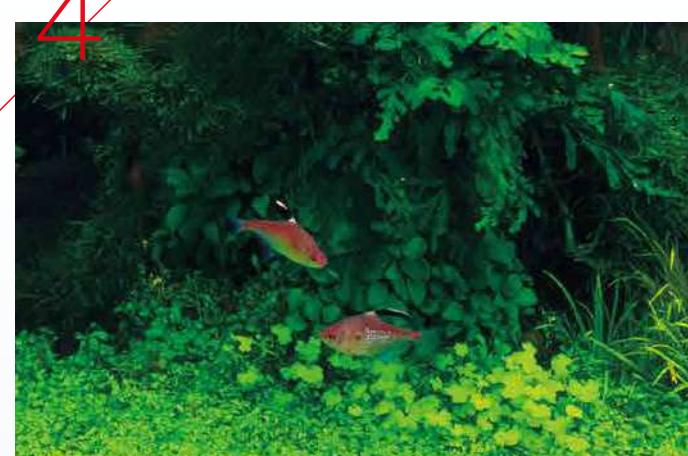
液体栄養素の活用

有茎草を美しく育てるには、液体栄養素の添加が欠かせない。この水景では、以下の液体栄養素を添加。グリーンプライティ・ニトロにはリンが含まれておらず、窒素を重点的に与えたい時に重宝する。

1. ブライティK
2. グリーンプライティ・ニトロ
3. グリーンプライティ・ミネラル
4. ECA・プラス



植栽



©AQUA DESIGN AMANO

アヌビアスに植栽を変更

この部分にも当初はクリプトコリネを植栽していたが、搬入時のストレスで葉が溶ける心配があったため、同じサトウイモ科でもより丈夫なアヌビアスに植栽を変更した。

古い流木と苔による 佗び寂びの表現 癒しのパルダリウム

パルダリウムというと、熱帯ジャングルのような雰囲気を再現することが多いが、今回は落ち着いた佗び寂びを感じるレイアウトを目指した。参考にしたのは以前撮影で訪れた場所で見た光景で、朽ちた樹木と薄い土壌の上に深緑の苔とさまざまな植物が共存している様子が印象的だった。そんな朽ちていく樹木の様子を表現するために、構図素材には今にも朽ち折れそうな古い流木を使用した。システムパルダで高い湿度が保たれたお陰で流木に良い感じに苔が生え、アクアリウムとは一味違ったゆったりとした癒しの時間を与えてくれる。

[SYSTEM DATA]

- パルダライト 60
- システムパルダ 60 W60×D30×H45(cm)
- ミストボックス
- ミストフロー
- ミストフローキャップ
- サークュレーションファン 40
- メタルキャビネット 60(ブラック)
- パワーコード S-70
- 流木
- コロラドサンド
- 渓石
- ジャングルソイル
- ジャングルベース
- 佗び草ミスト

[植物]

- ペリオニア・レベンス
- 着生シダの一種
- シノブコケの仲間
- フィカス・ミラ・クエルシフォリア
- ジャングルプランツ メティオカルカ・テコラタム "オレンジ"
- 佗び草マット プレミアムモス
- 佗び草マット クリスマスマス
- 佗び草マット ピーコックモス

2020年5月20日 撮影(ADA)
レイアウト制作 文 本間 裕介
©AQUA DESIGN AMANO



1 フィカス・フミラ・クエルシフォリア
ヒメイタビに良く似るがオオイタビの変種という扱いになっている。ツタ状に生長し、育成環境の幅も広く扱いやすい。

佗び寂びの表現のため
植物の種類を絞り
落ち着いた雰囲気に

一般的なバルダリウムでは派手な印象の熱帯植物を多用するが、今回のレイアウトは落ち着いた雰囲気にしたかったので、使用する植物は派手すぎない種類に絞ってシンプルな配植にした。モスについては数種類混せて使用することで、より自然な雰囲気を演出している。これまでのバルダリウムでは前景まで植物を植栽することが多かったが、今回は佗び寂びを表現するために前景部分に化粧砂と石を用い、そこにモスを貼り付けた。この表現はネイチャーアクアリウムから取り入れたもので、今回のレイアウトのポイントにもなっている。



2 セラジネラsp.
バルダライト60に照らされ、落ち着いた赤味をみせるマレーシア産のセラジネラの仲間。同属のピクタと同じような生長をする。



全体の構成と植物の配置
長い時間を経てできた悠久の森をイメージし、モスの部分を多くしている。空間を大きく取ることで、植物たちの生長していくスペースにも余裕ができる。



メディオカルカ・デコラタム "オレンジ"
初めてのバルダリウムに導入しやすいラン科植物の一種。ニューギニア原産で可愛らしいオレンジ色の花をいつも咲かせる。

ADA
ジャングルプランツ



ペリオニア・レベンス
グラウンドカバーから壁面まで広く役をこなすことができる。生長が早いため、伸びてきたら適宜トリミングをする。



着生シダの一種
熱帯雲霧林では、樹幹や岩にシダ植物が着生している姿をよく目にする。目立たなくとも、臨場感を出すことができる必須の存在。



シノブゴケの仲間
モスは複数を配植することで、自然の深みを表現できる。シノブゴケの仲間の繊細な葉姿は、マクロな視点で見ても楽しい。



プレミアムモス
水辺を意識してプレミアムモスを選択した。扁平に広がりやすく、濡れたモスグリーンが美しい。



ADA
佗び草マット

Enjoy DOOA

Yusuke Homma

高湿度を好む苔や植物
システムパルダで
“石と苔の涼”を楽しむ

渓流や滝の近くなど、微細な水の粒子が漂って空気が常に湿った場所では、苔むした素晴らしい石に出合うことがある。ミストフローとサークレーションファン40を装備したシステムパルダを使用すれば、そんな空中湿度の高い環境を簡単に再現できる。システムパルダは、熱帯雲霧林の再現だけでなく、佗び寂びを感じるような苔むした石の風景の再現にも適しているのだ。ゆっくり長い時間をかけて育った美しい苔や植物は、私たちの心を癒してくれる。この夏、システムパルダで“石と苔の涼”を楽しんでみてはいかがだろうか。

[SYSTEM DATA]

- パルダライト 30
- システムパルダ 30 W30xD30xH45(cm)
- ミストボックス
- ミストフロー
- ミストフローキャップ
- サークレーションファン 40
- システムスタンド 35(ブラック)
- パワーコード S-70
- 山水石
- 佗び草ミスト

【植物】

- マレーシア産コケシノブ科の仲間
- レバンテス・カラディクティオン
- マメツタ
- レバンテス・サモレンシス
- ジャングルプランツ セラトスティリス・フィリピンシス
- 佗び草マット クリスマスマス
- 佗び草マット ウィーピングモス

2020年5月20日 撮影(ADA)
レイアウト制作・文 本間 裕介
©AQUA DESIGN AMANO



1 マレーシア産コケシノブ科の仲間



2 レバンテス・カラディクティオン



3 マメツタ



全体の構成と植物の配置

存在感のある大きめの石を一つ置き、その石に苔や植物を活着させた。その際、全体を覆うのではなく、石の地肌を出すことが佗び寂びを感じさせるポイント。



4 クリスマスマス



5 セラトスティリス・フィリピンシス

小さな芳香性の白花を咲かせる細葉の小型着生ラン。湿度と風を好むので、システムパルダにはとても適している。高密度の群落で開花させたい。



ジャングルプランツ





発光面

パルダライト30/60の開発

パルダライトはジャングルプランツの良好な生長に加え、熱帯ジャングル独特の雰囲気を醸し出す青く輝く葉と色鮮やかな花を自生地さながらの様子で観賞することを目的に開発されました。従来の白色LEDを搭載した照明器具では、植物の色が黄色っぽく見えたり、花の色もくすんで見えてします。また、水草育成用に調光されたRGB LEDでも水上栽培となるジャングルプランツでは、条件が違うため十分な演色性は得られないのです。

アクアスカイG601の使用例



演色性の比較

左側の白色LEDで点灯した場合と比べ、独自に調光されたRGB LEDを搭載したパルダライト（右側）では、熱帯ジャングル独特の雰囲気が再現されている。

パルダライト 60の使用例



育成条件で大切な光

パルダライトの最適化された光の下では、各種ジャングルプランツも健康に育っています。なおレイアウトや植物の種類によって光量を弱めたいときには、付属の「減光シール」を発光面に貼ることで約30%カットすることもできます。



AJ294号掲載 (2019年12月23日撮影) から維持をづけているシステム
パルダ 60。2020年5月13日 撮影

※ストロボ併用撮影のため上の使用例と色合いが異なります。

パルダライトの効果

パルダライトを設置したDOOAのシステムパルダでの育成効果は、そこで育つ植物の様子を見れば一目瞭然。



濡れたアルディシアは銀粉を散りばめたよう。



スリスリは可憐な花を咲かせた。



プレウロタリスは子株を付ける。



モスは立ち上がることなくしっかり生長。



赤紫色に染まるS. Donnasanensis。



セラジネラは青く光る葉を持つ代表種。



Bulb.カリクロマの葉は青くメタリックに輝く。



■パルダライト 30

サイズ	W31.2×D80×H30 (cm)
入力電圧	AC100~240V 50/60Hz
定格電力	24W
消費電力	16W±10% (LED 24球)
照度	10cm直下／約15,000Lux
色温度	19,000~23,000K (LEDの特性上、色温度には高低のばらつきがあります)
LED寿命	30,000時間以上 (使用環境によって異なります)
使用環境温度	0~35°C
	¥24,000 (税別)



■パルダライト 60

サイズ	W61.2×D80×H30 (cm)
入力電圧	AC100~240V 50/60Hz
定格電力	54W
消費電力	30W±10% (LED 45球)
照度	10cm直下／約15,000Lux
色温度	19,000~23,000K (LEDの特性上、色温度には高低のばらつきがあります)
LED寿命	30,000時間以上 (使用環境によって異なります)
使用環境温度	0~35°C
	¥33,000 (税別)

DOOA PALUDA LIGHT 30/60

「求めたのは林床の雰囲気を再現する光」

個性豊かなジャングルプランツを育成、観賞するのに適した光を求めて独自に開発されたRGB照明器具がパルダライト 30/60です。熱帯の林床独特の雰囲気が楽しめます。

パルダリウムの醍醐味は、熱帯ジャングルを覗き込んだような多種多様な植物が混生する野生味あふれる景観にあります。林冠から漏れる光が差し込み、高温多湿な環境下では苔やシダに代表される耐陰性の高い植物が多く、樹上ではランなどの着生植物の姿も見られます。雨や霧に濡れた葉は青く輝き、ランの仲間は色鮮やかな花を咲かせます。DOOAのパルダライトは、青く輝く葉と鮮やかな花の色の再現を目指し開発されたRGBライティングシステムなのです。



レパンテス・カロディクティオン
Lepanthes calodictyon

2mmほどの極小の花、太い細いのある葉の網目模様、フリル状に波打つ葉縁など、小型ながら見どころの多い着生ラン。



アヌビアス・ナナ・"プチ"
Anubias barteri var. nana "Petite"

水上でも根を乾燥させなければ、時間の経過に伴ってゆっくりと大きく、見応えのある株に生長する。BIOみずくさの森を使用。



BIO みずくさの森



テラベース S
Ø10×H16 (cm)



ディネマ・ポリブルボン
Dinema polybulbon

小型着生ランのボピュラー種。バルブ先端に2枚の葉をつけその間から花芽が伸びる。開花は1ヵ月ほど楽しめる。

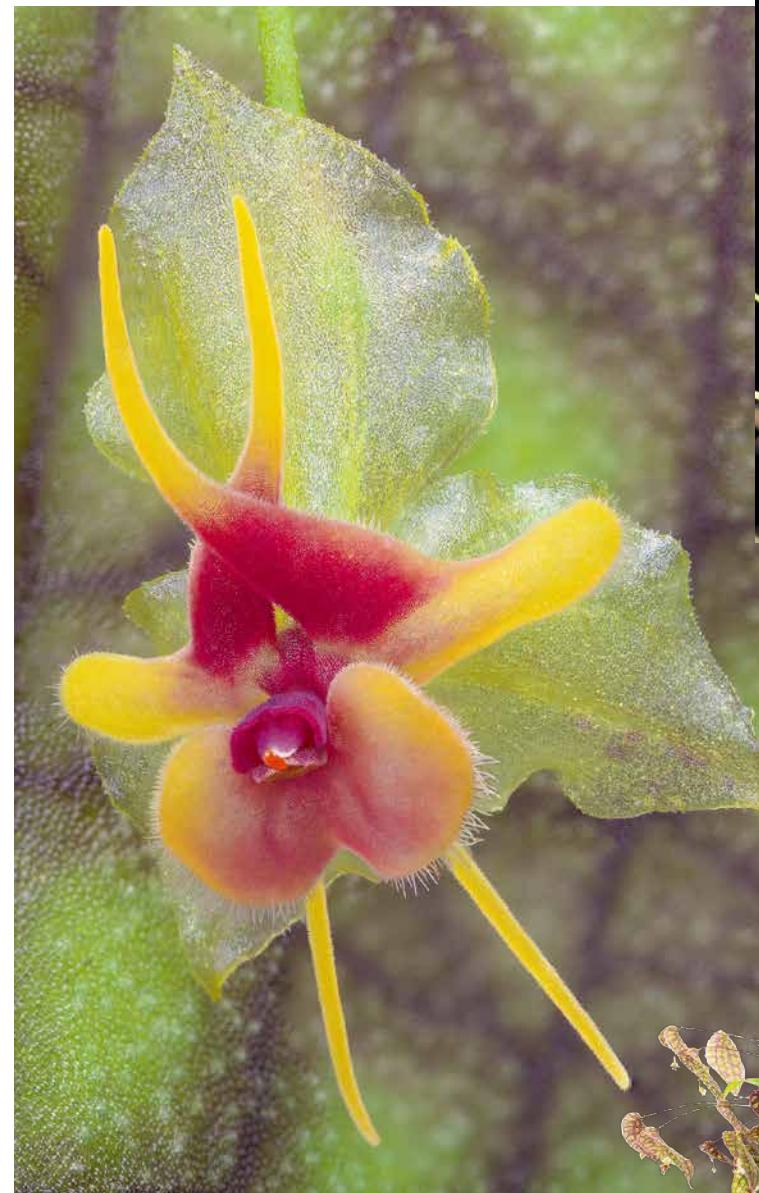


プレウロタリス・ミスタクス
Pleurothallis mystax

紫に白のコントラストが美しい。自然界では薄暗い環境に自生するが、屋内では照明を当てることで花が楽しめる。



テラベース M
Ø10×H23 (cm)



レパンテス・サルタトリックス
Lepanthes saltatrix

花をメスのブヨの生殖器に似せて花粉媒介者を待つと言う。長い時間をかけて進化した形態の意味を知るのもまた楽しい。



バルボセラ・ハンドロイ
Barbosella handroi

開花時期がよくわからなかったが、5月の初旬に花芽を上げた。テラベースの表面でクリスマスマスと混ざりながら生長。



テラベース L
Ø11.6×H28 (cm)

DOOA TERRA BASE

「苔に悠久の時を感じながら植物本来の姿を楽しむ」

人が踏み入れないような鬱蒼とした密林の樹木に着生する小型着生ラン。
極端な環境の変化を好み、ゆっくりと株を充実させて、個性的な花を咲かせます。
自然淘汰の末、生き残った植物のたくましい姿を知ることができます。

水槽内で楽しむテラベースは苔類の状態を保つために、常に湿った環境を提供しなくてはなりません。ランの中には、花芽を形成するために一時的な乾燥期を経験させることが必要な種もありますが、このページで取り上げた種はテラベースで可憐に花を咲かせました。これらの種は、常時多湿な状態でも花芽を上げるため、水槽向きの種と言えます。着生ランは種によって開花の条件や時期が異なるため、常に花を咲かせているわけではありませんが、テラベースで思いがけず花が咲いたときは、久しぶりに友人に会った時の感動覚えるはずです。

SUIKEI Words

水景ワード

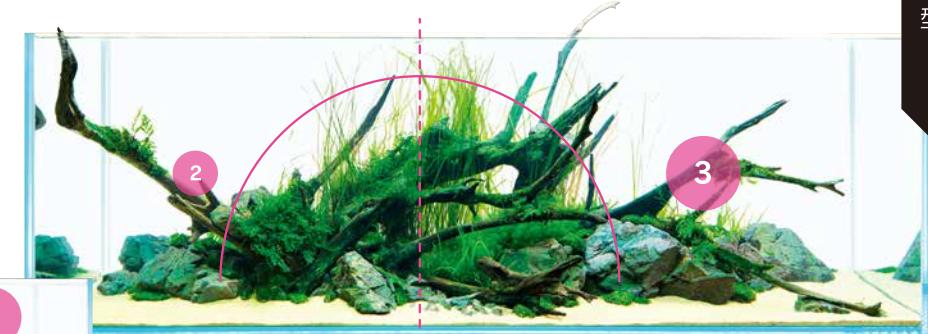
Keyword 02

レイアウト構成 ~流木~

解説／本間 裕介

美 しいレイアウトをつくる秘訣は、水槽の中に方向性や流れをつくることです。水の流れの方向を定めることで、水景に動きが出て、単純にならずに長期維持が可能になり、いつまでも楽しめる景観になります。流木を使ったレイアウトの場合は、枝の形状を生かすように組むことでさまざまな表現ができるようになります。

美しい水景をデザインするためには、
基本となるポイントがあります。
このコーナーでは、それらをキーワードとして取り上げ、
水景クリエイターが解説していきます。
水景の理解を深めていきましょう。



凸型

水槽サイズ／W180×D60×H60 (cm)

中央部分の水草が密生

水草の植栽位置が中央になる安定感のある構図です。密生した水草の中心を、黄金比に
ならない水槽全体の約2:3の位置になるように整えます。水草が繁茂したあとの空間も左
右で2:3になるように植栽も工夫します。



枝の間の空間バランスを意識

一点から放射状に広がるように流木を配置します。奥行きを出すために、前面に大きな流木を配置し、背面に小さな流木を並べてバランスを整えます。大きい流木が平行にならないように置くことがポイントです。

水槽サイズ／W120×D50×H50 (cm)



直角三角形を描く

どちらかの上方に空間を広く取り、水槽内に対角線を描く構図です。水槽の右側に通路がある場合は右下がりの構図にするなど、設置する部屋の状況に合わせてスペースを空けるとより空間に調和した水景になります。



中央に空間を設ける

左右に水草の群落を持ってくる制作しやすい構図です。左
右非対称を意識し、水草の茂みが2:3の分量になるとバ
ランスがよく見えます。中央に空間ができるため、奥行き
を出すのも容易です。



凹型

水槽サイズ／W180×D60×H60 (cm)

DOOA, an inspiring brand, helps you enjoy aquatic plants more freely. Minimal and easy, and designed as a platform allowing everyone to nurture plants indoors. Feel closer to nature, and bring beauty into your life.

DOOA STYLE

小さくても、
レイアウトが楽しめる器。

Text_Kota Iwahori

#02



このガラスポット MARUにつくったレイアウトは、小さな器の中に広い世界を表現することをテーマにしています。高低差をつけた底床も、器の中だけには収まらない外への広がりを表現するための手法です。メインに植栽したウォーターローンは、湿度の高い環境においてはやや細葉になりますが、水中と同じようなワフワフとした絨毯を広げます。薄紫色の可憐な花をつける姿は、毎日見ても飽きません。みなさんも、ガラスポット MARUの中に自分だけの世界をつくってみませんか。

DATA
■ガラスポット MARU
095×H146(mm)
■トロピカルリバーサンド
■万天石

[植物]
BIO みずくさの森 ウォーターローン／佗び草マット ピーコックモス／
コモウセンゴケ
制作 岩堀 康太



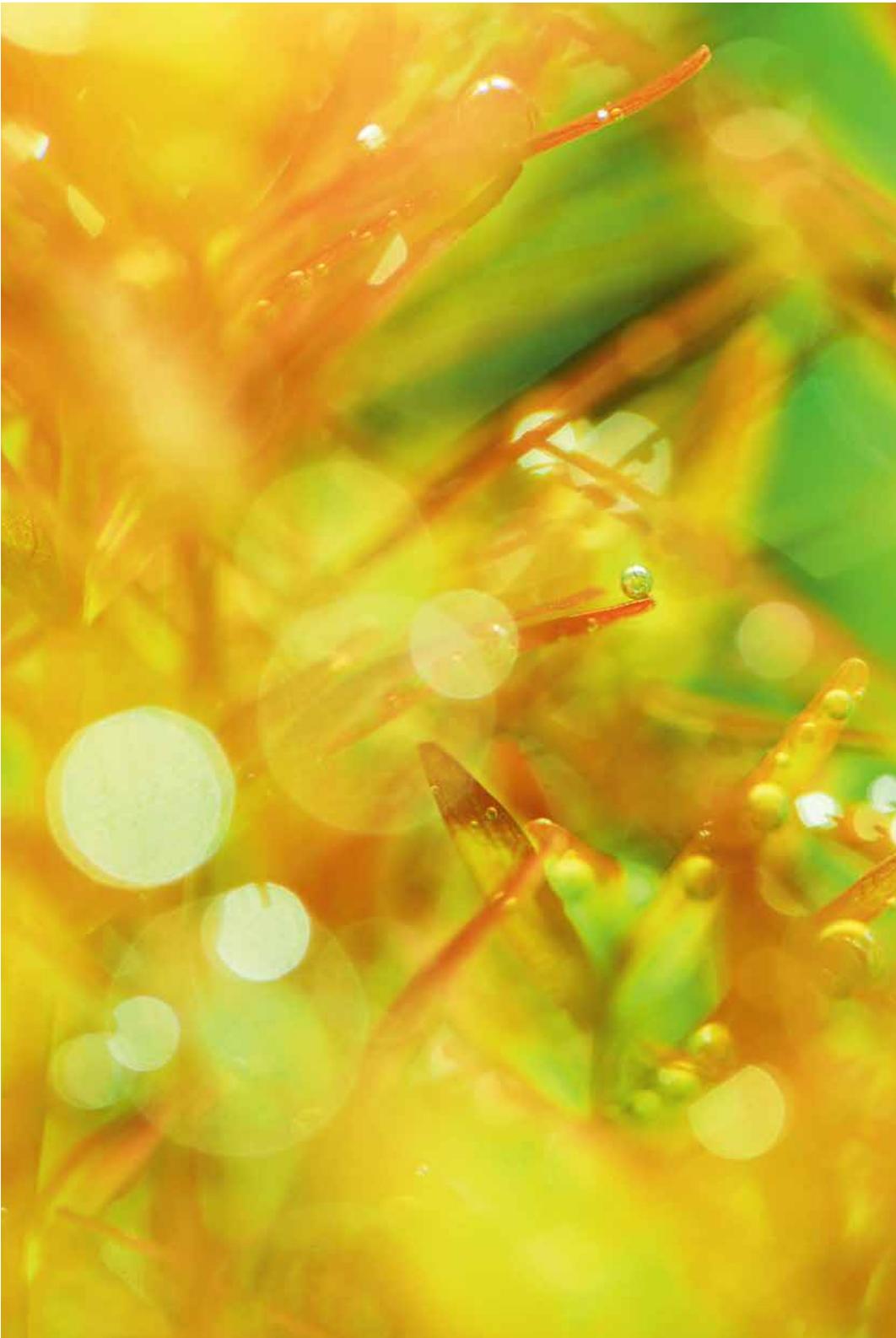
ポイントのモウセンゴケ。モウセンゴケの仲間といえれば湿地に生えるイメージが強いが、ロゼット型のものはこのように湿った崖に蘚苔類と共に自生していることが多い。

DOOA STYLE / GLASS POT MARU

PLANT ART STUDIO

32

放出される酸素の輝き。ここから生命の旅がはじまる。
Photo & Text / 本間 裕介



ネイチャー コラム

NATURE COLUMN

季節ごとのコラムを発信していきます。

常日頃からネイチャーに身を置くライターが身近な自然をテーマに

「親しみたいタナゴ」

第 2 回

文・写真／小川 龍司



夕 ナゴという魚はご存知でしょうか。古来日本で身近な淡水魚として親しまれてきた生き物になります。雑魚などと呼ばれて他の小魚たちと一緒にされていたことも珍しくないでしょ。田んぼの水路を網でさらってみたときに小さなコイやフナ、ドジョウやモロコの仲間などさまざまなかつらに捕れたことが想像できます。そんな身近に見られるタナゴはどんな生き物なのでしょう?

日本に生息しているタナゴの仲間は18種います。新潟県ではヤリタナゴやタイリクバラタナゴ、アカヒレタビラなど5種が生息しています。写真的タナゴはヤリタナゴといふ種類で、ADAが所在する地域にかつてあつた鎧潟と呼ばれる湖沼流写真のタナゴはヤリタナゴといふ種類で、ADAが所在する地域にかなり苦労を要し、フィールドで遂に発見したときの感激はひとしおでした。ヤリタナゴは日本における自然分布域が最も広く、一般的なタナゴといえる種類です。タナゴには日本固有種のもの、それ以外の

移入・外来のものが居り、よくニユースなどで取り沙汰されています。それぞれの種類で形態の違いはあれど、タナゴたち独特の繁殖生態が共通して挙げられます。それは生きているイシガイ科などの淡水二枚貝へ産卵する行動です。貝の中に産む理由は、貝の呼吸による新鮮な水流が卵を育んでくれること、また卵を捕食者から守るためにこいの産卵床となるからです。このことから彼らが好む環境には二枚貝の生息環境というものが関連してきます。多くの淡水二枚貝の生息環境からもわかるように、タナゴは水深があり水流の強い流域よりも小川や用水路、湖沼の浅い岸辺などを好むことがわかります。水中にはオオカナダモやヤナギモなどの沈水植物が生育し、抽水帶にはガマやショウブなどが茂るようなどところで見ることができます。全国的に減少の声が聞こえてくるタナゴたちですが、たくましく生息している水辺もあることと思います。ぜひタナゴたちを観察しにネイチャーへ出かけてみてはいかがでしょうか。

INFORMATION

THE INTERNATIONAL AQUATIC PLANTS LAYOUT CONTEST 2020

結果発表と作品発表をYouTube Liveで世界同時配信!

世界水草レイアウトコンテストの作品発表と表彰式の場として毎年秋に開催しているネイチャーアクアリウム・パーティーですが、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大を受け、今年は開催を中止することとなりました。審査日程に変更はありませんが、結果発表と作品発表を同時に形式に変更し、8月29日(土)にYouTube Liveで世界同時配信いたします。個人への結果通知の発送とインターネットでの世界ランキングの発表は、このライブ配信後に行います。例年とは、お手元への結果通知の到着と結果発表・作品発表の順番が入れ替わりますことをご理解ください。なお、個人への結果通知には、ささやかながら世界水草レイアウトコンテスト20周年の記念品を同封させていただきます。



ADAviewにて
2020年8月29日(土)
20:00～世界同時配信

※日本時間 ※結果発表・作品発表は127位以上。



ADA NEW CATALOG NEW DESIGN OF ADA

「ADA NATURE AQUARIUM」ブランドは、ADAの創業者である天野 尚がネイチャーアクアリウムを確立する過程において誕生しました。そして、今もなお、ネイチャーアクアリウムの水景とともに、その進化と洗練は止まることなく続いています。「ADA NATURE AQUARIUM」はこれからも水草ホビーをリードし、ネイチャーアクアリウムを本気で楽しむ方のためのブランドとして自己革新を続けていきます。

ADA 新製品 カタログ「NEW DESIGN OF ADA」B5 変形版 全44ページ



私たちの好奇心や探究心を満たし、心を豊かにしてくれる水草やジャングルプランツ。その原産地の多くは熱帯地域など海外であり、一部を除いて日本に自生するものではありません。これからもずっと、植物の緑を楽しんでいくために、ADAは、グリーン・マナーを提案します。

植物の環境流出を防ぎましょう。
環境影響への意識を持ちましょう。



STAFF CREDIT

AQUA DESIGN AMANO CO., LTD.
©2020 Printed in JAPAN

Publisher

天野 しのぶ

NATURE AD DESIGN

Editor

大岩 剛／阿部 正敏／本間 裕介／杉本 俊輔／岩堀 康太／小川 龍司

Art Direction

Design

丸山 悟司／市川 亮／板橋 広夢

Published by

株式会社 アクアデザインアマノ

Printed by

株式会社山田写真製版所

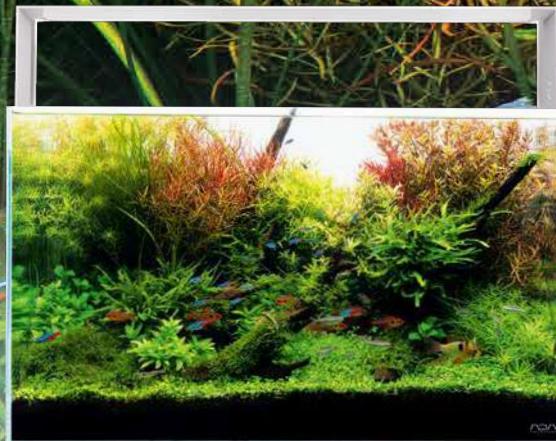
<https://www.adana.co.jp>

NEXT AQUA JOURNAL

AUGUST.2020 vol.298 / 2020年7月10日(金)発売予定

アクアジャーナルの情報は一部、ADAホームページで公開しています。

ADA NATURE AQUARIUM AQUASKY RGB 60



より美しく、より鮮明に。

水草育成用LED照明システム アクアスカイ RGB 60

ソーラー RGBの開発で培われた技術を導入し、アクアスカイが
まったく新しく生まれ変わりました。

アクアスカイ RGB 60は、水草の育成と観賞に最適化されたソーラー RGBと
同様の発光バランス(特許出願済み)によって
水草が健康に育ち、水景がより鮮明に美しく見えます。

ADA
aqua design amano